

横須賀市 新型インフルエンザ等対策行動計画

別冊

—新型コロナ対応における横須賀市の実施事業—

令和 8 年〇月

—目的—

【実施体制】

- 1 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金運用事業【財務部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -1-

【まん延防止】

- 1 窓口用アクリル板、足踏み式ディスペンサー等の設置
及び手指消毒液の配布【総務部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -2-
- 2 総合福祉会館、老人福祉センター・老人憩いの家の
サーキュレーター設置【福祉子ども部】・・・・・・・・ -3-
- 3 総合福祉会館・北下浦老人福祉センターの自動水栓設置【福祉子ども部】・・・・・・・・ -4-
- 4 障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援等事業【福祉子ども部】・・・・・・・・ -5-
- 5 手指消毒用エタノールの優先供給事業【福祉子ども部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -6-
- 6 公立保育園・こども園内の感染症対策物品購入【福祉子ども部】・・・・・・・・ -7-
- 7 青少年の家等施設運営管理【福祉子ども部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ -8-
- 8 各行政センターにおけるキャッシュレス決済の導入【地域支援部】・・・・・・・・ -9-
- 9 感染症対策物品の購入【地域支援部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ -10-
- 10 行政センターオンライン会議等の推進【地域支援部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -11-
- 11 行政センター等への自動水栓設置【地域支援部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -12-
- 12 コミュニティセンターへのサーキュレーター設置【地域支援部】・・・・・・・・ -13-
- 13 ウイルス抑制・除菌用UV照射機「U v e e」導入【地域支援部】・・・・・・・・ -14-
- 14 産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策【こども家庭支援センター】・・ -15-
- 15 一般旅客定期航路感染拡大防止支援事業【港湾部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -16-
- 16 児童生徒用机飛沫防止パーティションの設置【教育委員会】・・・・・・・・ -17-
- 17 学校における感染拡大防止対策の実施
(次亜塩素酸水等の配布等)【教育委員会】・・・・・・・・ -18-
- 18 選挙における感染症対策【選挙管理委員会】・・・・・・・・・・・・・・・・ -19-
- 19 特例郵便等投票の実施【選挙管理委員会】・・・・・・・・・・・・・・・・ -20-

【ワクチン】

- 1 新型コロナウイルス予防接種事業【健康部】・・・・・・・・・・・・・・・・ -21-
- 2 コロナワクチン接種済証による市内商店割引サービス
【文化スポーツ観光部・健康部】・・・・・・・・ -22-

【医療】

- 1 介護者が陽性となった場合の被介護者一時入院受入れ【福祉子ども部】・・・・・・・・ -23-
- 2 濃厚接触要介護者の一時入院・移送事業【福祉子ども部】・・・・・・・・ -24-
- 3 市民、うわまち、共済病院に500万円支援【健康部】・・・・・・・・ -25-
- 4 薬局に対する薬剤宅配報償金交付【健康部】・・・・・・・・ -26-
- 5 オンライン診療及びHER-SYS入力に対する報償金交付【健康部】・・・・・・・・ -27-
- 6 コロナ軽症者の外来透析仕組みづくり【健康部】・・・・・・・・ -28-
- 7 フェイスシールドの製作【経済部】・・・・・・・・ -29-

【治療薬・治療法】

- 1 中和抗体療法促進について医師会に対する補助金交付【健康部】・・・・・・・・ -30-

—目的—

【保健】

1	コロナ抗体検査の実施【市長室】	-31-
2	自宅療養者への食料配達サービス【市長室】	-32-
3	福祉のLINE相談【福祉こども部】	-33-
4	休日の生活困窮相談【福祉こども部】	-34-
5	高齢者への検査助成事業【福祉こども部】	-35-
6	第1PCRセンターの設置（医師会）【健康部】	-36-
7	救急医療センターにおける振り分け外来での抗体検査【健康部】	-37-
8	妊婦PCR検査【健康部】	-38-
9	抗原検査キット無料配布（発熱外来、抗原検査キット購入者）【健康部】	-39-
10	同時抗原検査キットを市内発熱外来にて無料配布【健康部】	-40-
11	第2PCRセンターの設置・運営補助（横須賀共済病院）【健康部】	-41-
12	抗原検査キット無償提供（医師会、クラスター予防事業所）【健康部】	-42-
13	感染患者の犬・猫ペットの緊急預かり事業【健康部】	-43-

【市民生活及び市民経済の安定の確保】

1	感染拡大防止を目的とした職員による広報誌配布と 業者ポスティングの実施【経営企画部】	-44-
2	臨時雇用対策事業【総務部】	-45-
3	次亜塩素酸水の市民配布【財務部】	-46-
4	クラウドファンディング型の店舗支援プレミアム応援チケットの実施 【文化スポーツ観光部】	-47-
5	プレミアム商品券事業【文化スポーツ観光部】	-48-
6	商業振興対策事業 商店街振興【文化スポーツ観光部】	-49-
7	徴収猶予の特例制度【税務部】	-50-
8	申告書作成及び税額試算サービス【税務部】	-51-
9	個人市民税の申告期限延長及び法人市民税及び事業所税の 申告・納付の期限延長【税務部】	-52-
10	軽自動車税種別割申告の課税上の取り扱いについて【税務部】	-53-
11	中小事業者等の事業用家屋及び償却資産に対する 固定資産税等の軽減措置【税務部】	-54-
12	食料支援【福祉こども部】	-55-
13	介護施設等サービス継続支援事業及び衛生用品購入費補助事業【福祉こども部】	-56-
14	障害者雇用奨励金【福祉こども部】	-57-
15	就労系障害福祉サービスにおける在宅就労導入支援事業補助金【福祉こども部】	-58-
16	衛生用品等の緊急調達事業補助金【福祉こども部】	-59-
17	障害福祉サービス継続支援事業補助金【福祉こども部】	-60-
18	移動支援事業及び訪問入浴サービス体制強化事業補助金【福祉こども部】	-61-
19	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの 支援等事業【福祉こども部】	-62-

—目的—

【市民生活及び市民経済の安定の確保】

21 たすけあい資金に係る社協負担金【福祉こども部】	-64-
22 病児・病後児保育事業における購入経費補助及び 施設予約等のICT化【福祉こども部】	-65-
23 公立保育園・こども園内の感染拡大防止及び雇用対策【福祉こども部】	-66-
24 地域子育て支援拠点事業【福祉こども部】	-67-
25 ファミリー・サポート・センター事業【福祉こども部】	-68-
26 横須賀認可外保育施設利用料支援事業【福祉こども部】	-69-
27 保育体制強化事業【福祉こども部】	-70-
28 保育支援員雇上事業【福祉こども部】	-71-
29 特別保育支援金【福祉こども部】	-72-
30 感染症拡大防止対策事業（子育て関連施設）【福祉こども部】	-73-
31 感染症対策支援事業（放課後児童クラブ）【福祉こども部】	-74-
32 感染症対策利用料減免（放課後児童クラブ）【福祉こども部】	-75-
33 感染症対策臨時休業時特別開所支援事業（放課後児童クラブ）【福祉こども部】	-76-
34 感染拡大防止を図る事業（放課後児童クラブ）【福祉こども部】	-77-
35 感染症に係る事業継続支援事業（放課後児童クラブ）【福祉こども部】	-78-
36 特別定額給付金給付事業【地域支援部】	-79-
37 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業【地域支援部】	-80-
38 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業【地域支援部】	-81-
39 新型コロナウイルス感染症の影響による減収を事由とする国民年金保険料免除申請 【地域支援部】	-82-
40 横須賀市国民健康保険特定健康診査【健康部】	-83-
41 市民健診事業・がん対策推進事業における健康診査委託料の増額【健康部】	-84-
42 妊婦へのマスク配布【健康部】	-85-
43 傷病手当金の支給【健康部】	-86-
44 新型コロナウイルス感染症に関する保険料減免に関する窓口対応【健康部】	-87-
45 児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業【こども家庭支援センター】	-88-
46 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業【こども家庭支援センター】	-89-
47 中小企業制度融資信用保証料補助金における全額補助【経済部】	-90-
48 中小企業等家賃支援補助金及び臨時給付金【経済部】	-91-
49 公共交通感染拡大防止支援事業【都市部】	-92-
50 公共交通燃料価格高騰対策補助金【都市部】	-93-
51 高齢者住宅リフォーム補助金【都市部】	-94-
52 一般旅客定期航路・生活航路支援事業【港湾部】	-95-
53 新型コロナウイルス感染症に係る水道料金等の支払猶予について【上下水道局】	-96-
54 感染症対応強化事業（市立各学校）【教育委員会】	-97-

該当部局一覧

No.	部局名	ページ数										備考
1	市長室	31	32									
2	経営企画部	44										
3	総務部	2	45									
4	財務部	1	46									
5	文化スポーツ観光部	22	47	48	49							
6	税務部	50	51	52	53	54						
7	福祉こども部	3	4	5	6	7	8	23	24	33	34	
		35	55	56	57	58	59	60	61	62	63	
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	
		74	75	76	77	78						
8	地域支援部	9	10	11	12	13	14	79	80	81	82	
9	健康部	21	22	25	26	27	28	30	36	37	38	
		39	40	41	42	43	83	84	85	86	87	
10	こども家庭支援センター	15	88	89								
11	環境部	該当なし										
12	経済部	29	90	91								
13	都市部	92	93	94								
14	建設部	該当なし										
15	港湾部	16	95									
16	上下水道局	96										
17	教育委員会事務局	17	18	97								
18	選挙管理委員会事務局	19	20									
19	監査委員事務局	該当なし										
20	議会局	該当なし										

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対策基金運用事業		
担当部課	財務部	財務管理課	
対策項目	実施体制	時期区分	初動期
実施期間	2020年5月～2020年12月	市行動計画掲載ページ	38ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要

「新型コロナウイルス感染症緊急対策基金」を令和2年5月8日に設立し、財政調整基金、個人・事業者等からの寄附、運用利子を積み立てた。（積み立てた基金は、コロナ対応にかかる事業に充当。）

実施結果

令和2年度 寄附件数356件 77,719,785円
 令和3年度 寄附件数 48件 6,208,254円
 令和4年度 寄附件数 21件 2,092,840円
 令和5年度 集計中

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
初期段階において、寄附者に対する感謝状の贈呈対応にバラツキが発生した。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本事業の評価	選択してください
本事業が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	窓口用アクリル板、足踏み式ディスペンサー等の設置及び手指消毒液の配付		
担当部課	総務部	総務課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年5月～2023年1月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民対応窓口用として、本庁舎及び各行政センターにアクリル板、足踏み式ディスペンサー等を設置し、手指消毒液を配付した。

実施結果

令和3年度
 窓口用アクリル板 657台
 足踏み式ディスペンサー 66台
 受付用アクリル板 4カ所
 CO2測定器 4台
 手指消毒液 2,832本

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
早急な調達が必要である。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	総合福祉会館、老人福祉センター・老人憩いの家のサーキュレーター設置		
担当部課	福祉こども部	福祉施設課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年9月～2022年12月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

総合福祉会館等利用者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として、貸室などにサーキュレーターを導入した。

実施結果

令和4年度 総合福祉会館の全貸室（13室）に設置
大型サーキュレーター21台、小型サーキュレーター25台

令和4年度 老人福祉センター、老人憩いの家へサーキュレーターを設置

本町老人福祉センター 大型2台 小型3台
池上老人福祉センター 大型2台 小型1台
鴨居老人福祉センター 小型4台
北下浦老人福祉センター 小型3台
公郷老人憩いの家 大型1台 小型2台

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	総合福祉会館・北下浦老人福祉センターの自動水栓設置		
担当部課	福祉子ども部	福祉施設課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年4月～2022年10月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

総合福祉会館・北下浦老人福祉センター利用者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として、トイレの手動水栓を自動水栓化した。

実施結果

令和4年度
総合福祉会館トイレ（1階から8階まで）の手動水栓（合計48箇所）を自動水栓化した。
北下浦老人福祉センタートイレの手動水栓（6箇所）を自動水栓化した。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援等事業		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2020年5月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

希望する市内の障害福祉サービス等を行う施設に対し、市が一括購入したマスクを配布した。

実施結果

令和2年度
 配布事業所数 148件（311事業所中）
 配布枚数 大人用56,000枚 子供用10,000枚

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	手指消毒用エタノールの優先供給事業		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2020年7月～2020年7月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

希望する市内障害福祉サービス等を行う施設に対し、市が一括購入した手指消毒用エタノールを配布した。（1回目：2020年7月、2回目：2020年10月）

実施結果

令和2年度

【1回目】配布事業所数 290カ所

（医療的ケアを必要とする在宅障害者を含む）配布量 1,787.2L

【2回目】配布事業所数 287カ所

（医療的ケアを必要とする在宅障害者を含む）配布量 1,148L

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	公立保育園・こども園内の感染症対策物品購入		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

公立保育園・こども園内の感染拡大防止対策として、園児職員が使用する手洗いせっけん、保護者職員が使用する手指消毒用アルコール、乳幼児用おもちゃを消毒するアルコール、感染者発生都度園内の消毒に使用する物品一式、給食及びおやつの前にテーブル等を消毒するコロナ対応液剤が浸透しているおしぼり（おしぼり機購入）、空気清浄機等を購入し感染拡大防止に努めた。

実施結果

令和3年度～
園の性質上、密になりやすく感染が拡大しやすい環境において、園児、職員、及び保育環境の感染対策を徹底することができ、結果部分的な臨時休園等はあったものの継続して保育を提供することができた。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
新型コロナ感染症は、年間を通して身近に発生しており、5類になったからといって感染拡大防止の対策は必要なため、新しい生活様式としてこれらの消耗品予算がきちんと継続されること。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	青少年の家等施設運営管理		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年8月～2022年11月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

青少年会館及び各青少年の家の感染対策として、青少年会館及び青少年の家のトイレ洗面台の蛇口の自動水栓化を図った。また、利用者向けに消毒液を設置するとともに、施設のテーブルやおもちゃなどの備品類の消毒を行った。

実施結果

令和4年度	
【自動水栓化】	【消毒液の配置】
青少年会館 5箇所	青少年会館
坂本青少年の家 5箇所	青少年の家（R4 13か所、R2・3 14か所）
大津青少年の家 5箇所	田浦青少年自然の家

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
施設や備品類の消毒には、利用の都度行うため時間を要し、利用者を待たせることなどがあった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	各行政センターにおけるキャッシュレス決済の導入		
担当部課	地域支援部	地域コミュニティ支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21ページ

事業概要

追浜行政センター他8行政センターの証明発行窓口にて、非接触による手数料の支払いを可能にするキャッシュレス決済を導入した。

実施結果

令和3年度
行政センター9施設の証明発行窓口にて、キャッシュレス決済端末を導入した。
導入当初から、1か月に100件を超えるキャッシュレス支払いの利用があった。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
市民からは、職員と金銭の授受を行うことがなく、また簡単に支払いができるキャッシュレス決済が導入されたことで、利便性が向上したとの声があった。 職員からは、レジとキャッシュレス決済端末が連動し、請求金額の誤りが発生しないことについての評価が高く、課題は特になかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症対策物品の購入		
担当部課	地域支援部	地域コミュニティ支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

コミュニティセンターに来館した市民のコロナウィルス感染を予防するため、手指消毒用アルコールを整備した。

実施結果

令和3年度
 アルコールジェル 49箱（12本入／箱） 購入
 コミュニティセンター 23施設 整備

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
利用者からはコミュニティセンターの入口で消毒ができたことから、利用する際に安心感が得られるとの声があった。 誰もができる日常的なコロナ対策として、大いに有効で安心感に直結する事業であり、効果は大きく課題は特になかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	行政センターオンライン会議等の推進		
担当部課	地域支援部	地域コミュニティ支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

本庁と行政センター間・行政センター同士の情報共有および移動の抑制や接触機会の低減化による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、行政センターにWeb会議用パソコンを導入し、オンライン会議等の推進を図った。

実施結果

令和3年度
各行政センター（9施設）に対し、WEB会議用のパソコン、ウィルス対策ソフト、インターネット通信用WiFiを整備し、オンラインによる館長会議（月1回）を開催した。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
WEB会議を実現できたことで、会議室に多くの人数が集まることなく検討や情報共有を行えるようになり、コロナウィルスへの感染リスクを削減することができた。 また、各行政センターから本庁舎への移動時間を他の業務に充てられるようになり、業務効率が向上したことから、効果は大きく課題は特になかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	行政センター等への自動水栓設置		
担当部課	地域支援部	地域コミュニティ支援課その他関係部局	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年11月～2022年12月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症対策として、非接触による衛生的な手洗い環境を整えるため、各コミュニティセンターのトイレの手洗い場を自動水栓とする修繕を実施した。

実施結果

令和4年度

本町コミュニティセンター4か所	安浦コミュニティセンター2か所
三春コミュニティセンター8か所	追浜コミュニティセンター8か所
田浦コミュニティセンター19台	長浦コミュニティセンター8台
逸見コミュニティセンター9台	浦賀コミュニティセンター5か所
浦賀コミュニティセンター分館5か所	久里浜コミュニティセンター1か所
岩戸コミュニティセンター2か所	長井コミュニティセンター2台

の手洗い場を自動水栓にすることができた。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
コミュニティセンターの全トイレに1台以上の自動水栓を設置することができ、非接触による衛生的な手洗い環境が整ったことは、利用者からも注目された。感染対策として大きな効果があり、課題は特になかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	コミュニティセンターへのサーキュレーター設置		
担当部課	地域支援部	地域コミュニティ支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年10月～2022年12月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症対策として、貸室内の換気を促進するためコミュニティセンター全室にサーキュレーターを設置した。

実施結果

令和4年度
コミュニティセンター22施設に191台のサーキュレーターを設置した。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
コミュニティセンター全室にサーキュレーターを設置できたことで、これまでよりも快適に新型コロナウイルス対策ができる環境を整えることができ、課題は特になかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	ウイルス抑制・除菌用UV照射機「Uvee」導入（東芝ライテック寄贈）		
担当部課	地域支援部	田浦行政センター	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2022年3月～	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染拡大防止や利用者がより安全に、安心して利用できるようにするため、人感センサー運転で使用できるウイルス抑制・除菌用UV照射機「Uvee」を導入する。

実施結果

令和3年度
 田浦行政センター 1階 2台
 田浦行政センター 1階エレベーターホール 1台
 田浦コミュニティセンター 3階 1台

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
更新の際は、高額（4台と工事費一式で1,070,000円）になることが予想される点。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	産後ケア事業を行う施設における感染拡大防止対策		
担当部課	こども家庭支援センター	こども家庭支援課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2022年12月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

産後ケア事業を行う施設等に感染対策のための消耗品費や備品を配布した。

※令和2・3年度はこども健康課（現；地域健康課）
令和4年度はこども家庭支援課 が実施

実施結果

配布施設等数

令和2年度 9施設

令和3年度 7施設

令和4年度 8施設

配布内容 エアコン、アコーディオンスクリーン、空気清浄機、加湿器、
アルコール自動噴霧器、非接触式体温計、マスク、グローブ、
ゴーグル、ガウン、消毒液など

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	一般旅客定期航路感染拡大防止支援事業		
担当部課	港湾部	港湾企画課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2020年8月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内一般旅客定期航路運行事業者が感染拡大防止対策として行った費用への補助をおこなった。
また、市内の一般旅客定期航路運航事業者が、感染拡大防止対策として船内や事業所で実施する飛沫防止アクリル板の設置、消毒作業や空気清浄機の購入等の費用を補助した。

実施結果

令和2年度
感染拡大防止対策を行い、より安全な一般旅客定期航路を確保した。
東京湾フェリー(株) 上限600千円 × 使用船舶数 2隻 = 1,200千円
(株)トライアングル 上限100千円 × 使用船舶数 3隻 = 300千円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
対象を一般旅客定期航路としたため、「軍港めぐり」などの対象外となる船舶があった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	児童生徒用机飛沫防止パーティションの設置		
担当部課	教育委員会	総務課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年8月～2021年10月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21ページ

事業概要

学校における感染拡大予防のため、市立学校の児童生徒1人1人の机にプラスチック製のパーティションを設置した。

実施結果

令和3年度
購入枚数 30,000枚
(小学校18,850枚、中学校9,850枚、全日制高等学校995枚、
定時制高等学校215枚、ろう学校50枚、養護学校40枚)

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
緊急で整備したため、当初は学校により使用状況にばらつきがみられた。（その後、各学校へ使用方法を周知徹底し標準化が図られた。）		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	学校における感染拡大防止対策の実施（次亜塩素酸水、換気用扇風機等の配布等）		
担当部課	教育委員会	保健体育課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年5月～2021年6月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

学校における感染拡大防止のため、次亜塩素酸水を配布した。
また、消毒液、フェイスシールド、透明マスク等、非接触型体温計、黒球式熱中症計を購入し、各私立学校に配布した。
さらに、市立学校の各教室に2台換気用の扇風機等を購入して配布した。

実施結果

令和3年度
各市立小学校・中学校・高等学校・特殊支援学校・幼稚園に10Lを2回配布した。希望校には追加配布を行った。
各市立学校、相談教室等へ様々な感染症対策物品を購入して配布した。透明マスクは、ろう学校ほか言葉の教室に配布した。
非接触型体温計 1,104個
黒球式熱中症計 148個
換気用扇風機 2,163台（各教室に2台ずつ設置）
経口補水液 107箱

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
配布側、受取側とも人員の確保が難しく、配布回数を増やすことは困難であった。 消毒用アルコール等が品薄で、数量の確保が困難だった。 非接触型体温計が品薄で、数量の確保が困難であった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	選挙における感染症対策		
担当部課	選挙管理委員会	選挙管理課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年6月～2021年6月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

期日前投票や当日投票に来場する選挙人が安心して投票できるよう、各投票所で感染症対策を講じた。

(実施した内容)

- ・名簿対照係でのビニールパーテーションの設置
- ・手指消毒液の設置
- ・係員による鉛筆等の定期的な消毒
- ・アルコールアレルギーの方には使い捨て鉛筆を用意

実施結果

令和3年度

期日前投票と当日投票を合わせて109,709人が来場した。(市長選挙)

期日前投票と当日投票を合わせて176,768人が来場した。(衆議院小選挙区)

令和4年度

期日前投票と当日投票を合わせて169,176人が来場した。(参議院選挙区)

令和5年度

知事・県議選挙では、期日前投票と当日投票合わせて127,003人が来場し、市議選挙では期日前投票と当日投票合わせて132,716人が来場した。

事業の振り返り(課題など)

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
アルコール消毒液を各期日前投票所及び各当日投票所に配布するため、大量に購入するが、消防法の規定により大量に貯蔵する場合は消防署に届け出なければならないため、購入後には消防庁舎の倉庫に保管をしていた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	特例郵便等投票の実施		
担当部課	選挙管理委員会	選挙管理課	
対策項目	まん延防止	時期区分	対応期
実施期間	2021年10月～2021年10月	市行動計画掲載ページ	59ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

公職選挙法の改正により、令和3年7月以降に執行の選挙から適用された投票制度。令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の期間中に、新型コロナウイルスに感染し、外出自粛となった選挙人が選挙管理委員会に投票用紙等を請求することで、自宅等で投票できるため、この制度を利用して投票が行われた。

実施結果

令和3年度
（衆議院） 投票用紙等請求者数：0名 投票者数：0名
令和4年度
（参議院） 投票用紙等請求者数：3名 投票者数：3名
令和5年度
（知事・県議） 投票用紙等請求者数：0名 投票者数：0名
（市議） 投票用紙等請求者数：0名 投票者数：0名

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
投票用紙等の請求書を選挙管理委員会に提出する必要があるが、1人暮らしなどの場合では、外出できずに投票用紙等の請求ができない場合もある。 また、投票用紙等の請求期限（選挙期日の4日前）を経過した後に、新型コロナ感染により外出自粛要請の対象となっても、当該制度を利用して投票することはできない。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナウイルス予防接種事業		
担当部課	健康部	保健所企画課（防疫企画担当課）	
対策項目	ワクチン	時期区分	初動期～対応期
実施期間	2020年12月～	市行動計画掲載ページ	71ページ
		コロナ対応史掲載ページ	23ページ

事業概要

新型コロナウイルスワクチンについて、接種を希望する方に円滑なワクチン接種を実施した。

主な内容は以下のとおり。

- ・市内接種医療機関の確保
- ・集団接種会場の設置及び運営
- ・予約相談窓口の運営
- ・ワクチン専用コールセンターの設置
- ・広報による接種勧奨

実施結果

令和3年度 接種人数：延828,037人

令和4年度 接種人数：延399,594人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
国が方針を決定するスピードが遅く、準備期間が非常に短い中で事業を実施しなければならなかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	コロナワクチン接種済証による市内商店割引サービス		
担当部課	文化スポーツ観光部 健康部	商業振興課 保健所企画課（防疫企画担当課）	
対策項目	ワクチン	時期区分	対応期
実施期間	2021年6月～2022年6月	市行動計画掲載ページ	71ページ
		コロナ対応史掲載ページ	28ページ

事業概要

令和3年6月、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、多くの方が外出を控える状況が続く中、「新型コロナワクチンの接種率向上」と「市内経済の早期回復」を目指し、「ワクチン接種推進キャンペーン」を実施した。
キャンペーンは、新型コロナワクチン予防接種済証の提示により、市内の協力店舗において割引など、さまざまな特典やサービスを提供するものであった。

実施結果

令和3年度
感染予防対策を十分に講じながら、手探りの状態で始まったキャンペーンでしたが、多くの商店会（街）や大型店舗に参加していただき、「顧客が増加した」「商店会（街）のPRになった」など参加した店舗からは概ね好評。
参加数：37商店会、11大型店舗、ほか市内店舗
令和3年度接種人数：延828,037人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<ul style="list-style-type: none"> ・終了時期を定めずに始めたため、キャンペーン参加のハードルが高くなってしまった。 ・ワクチン自体に否定的な意見もある中行ったキャンペーンだったため、一部否定的なご意見をいただいた。 		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	介護者が陽性となった場合の被介護者一時入院受入れ（市民病院・ヨゼフ病院）		
担当部課	福祉こども部	地域福祉課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2020年月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	12ページ

事業概要

在宅の要介護者の同居家族等が新型コロナウイルス感染症の陽性患者となったことにより、PCR検査等の受検に係る移送や一時入院及びそれに伴い必要となる移送を市が実施することで、当該要介護者の安定した生活の確保及び新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る。

実施結果

年度	一時入院件数	移送件数
令和2年度	12件	35件
令和3年度	7件	22件
令和4年度	2件	5件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<p>予算計上せず発生時の予備費対応なので、財務処理に時間がかかる。</p>		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	濃厚接触要介護者の一時入院・移送事業		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～不明	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

在宅の障害者等の同居家族等が新型コロナウイルス感染症の陽性患者となったことによる、当該障害者のPCR検査受検や、一時入院及び一時入所のための移送を委託で実施した。

実施結果

令和2年度 1件
令和3年度 0件
令和4年度 1件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	市民、うわまち、共済病院に500万円支援		
担当部課	健康部	健康総務課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2020年6月～2020年6月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の入院患者を重点的に受け入れている、市立市民病院、市立うわまち病院、横須賀共済病院の3病院に対し、支援金を交付した。

【支援金額】 1,500万円（各病院500万円）

【想定用途】 医師・看護師等への危険手当や、医療従事者の防護服、一般病床とのエリア分けにかかる費用

実施結果

令和2年度
結果量は不明だが、重点対応病院の負担軽減に繋がったと考えられる。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	薬局に対する薬剤宅配報償金交付		
担当部課	健康部	保健所企画課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2022年3月～2024年5月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	37ページ

事業概要

外出が禁じられている自宅療養者のオンライン診療をより一層促進するため、オンライン診療に伴う服薬管理指導及び処方薬の宅配を行った薬局を支援した。

実施結果

令和3年度 薬局数 38薬局
 件数 273件
 令和4年度 薬局数 84薬局
 件数 4,569件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
市内薬局への周知が不足していた。 （薬剤師会に加入していない薬局が多く見受けられたため）		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	オンライン診療及びHER-SYS入力に対する報償金交付		
担当部課	健康部	保健所企画課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2022年7月～2023年2月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	41ページ

事業概要

地域医療のひっ迫を防ぐとともに受診者の負担軽減を図ることを目的として、オンライン診療を推進し、保健所の業務負担についても軽減するため、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（以下「HER-SYS」という。）により発生届を提出した医療機関に対し、支援を行った。

実施結果

令和4年度 医療機関数 73医療機関
件 数 7,068件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	コロナ軽症者の外来透析仕組みづくり（民間救急を利用した透析者の移動手段確保）		
担当部課	健康部	保健所保健予防課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2022年2月～2023年5月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	36ページ

事業概要

民間救急を利用した透析者の移動手段の確保のためにコロナ軽症者の外来透析の仕組みを確立した。（令和4年2月4日）

実施結果

令和3年度 62件
令和4年度 450件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	フェイスシールドの製作		
担当部課	経済部	企業誘致・工業振興課	
対策項目	医療	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年5月	市行動計画掲載ページ	77ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

医療従事者が使う個人防護具不足の問題や、市内の医療機関で多くの物品が不足している状況にあった際に、感染拡大防止に向け、市内の製造業者と協力した取り組みとして、顔を咳などの飛沫から守るフェイスシールドを製作した。

実施結果

令和2年度
別添のとおり

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	中和抗体療法促進について医師会に対する補助金交付		
担当部課	健康部	健康総務課	
対策項目	治療薬・治療法	時期区分	対応期
実施期間	2021年10月～2022年9月	市行動計画掲載ページ	80ページ
		コロナ対応史掲載ページ	35ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症対策として、中和抗体薬の投与による治療を行うことで軽・中等症の自宅療養者等の対象患者の重症化を防ぐため、横須賀市医師会によるが中和抗体薬投与の調整及び支援に対して補助を交付した。

【実施概要】

- (1) 実施医療機関 よこすか浦賀病院・聖ヨゼフ病院・市立うわまち病院
- (2) 対象者
 - ・発症4日以内の自宅療養者（7日以内に投与可能であること）
 - ・SpO2 96%以上（肺炎を起こしていないこと）
 - ・50歳以上 または 基礎疾患等の重症化リスクあり

実施結果

【実績】207件

令和3年度 176件（浦賀病院158件、ヨゼフ病院14件、うわまち病院4件）
 令和4年度 31件（浦賀病院 24件、ヨゼフ病院 7件、うわまち病院0件）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	コロナ抗体検査の実施（令和2年7月、12月）		
担当部課	市長室	秘書課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年7月～2020年12月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	17ページ

事業概要

市内における新型コロナウイルス感染症の感染状況及び傾向を把握し、今後の感染症対策に活用するため、抗体検査を行った。実際の検査は市医師会に業務委託し、市内の複数個所の医療機関で実施。検査キットは市費で購入し、各医療機関に配付した。検査後は、医療機関より陽性者の報告を受け、抗体保有率を算出した。第一回目と第二回目の実施方法の違いは以下のとおり。

- ・第1回（令和2年7月3日～15日、無作為抽出）
市民2,000人に受検依頼を送付。その内964人が受検（市内40か所の医療機関）。
- ・第2回（令和2年12月1日～15日、申込抽選）
市民5,941人が応募。抽選により901人が受検（市内19か所の医療機関）。

実施結果

令和2年度
抗体保有率

第1回 1.04%（10人/964人）
第2回 0.44%（4人/901人）

今後も感染が拡大する可能性があり、今まで以上に感染対策を講じる必要があることが分かった。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	自宅療養者への食料配達サービス		
担当部課	市長室	秘書課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2021年8月～2022年9月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	32ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者へは、県が配食サービスを行ったが、感染の急拡大により、最初の配食到着までに4～5日かかることになっていた。このため、本市保健所では、当面の食料が自宅に無く、頼る人もいない等の自宅療養者へ食料配達を行ってきた。しかし、感染の拡大により、保健所においても同業務を実施することが困難となったため、同業務を全部局の応援職員により実施した。

実施結果

令和3年度
 第5波、不明（令和3年8月27日～11月1日）
 第6波、20件（令和4年1月31日～3月28日）
 令和4年度
 第7波、40件（令和4年7月20日～9月18日）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	福祉のLINE相談		
担当部課	福祉こども部	地域福祉課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2022年2月～不明	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	37ページ

事業概要

子育てや介護、障害、生活の苦しさ、ひきこもりなど様々な福祉の困りごとについて電話相談や窓口相談以外にLINEでの相談を受け付けた。

実施結果

令和4年度～ LINE相談 累計件数:820件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
市民への周知としてホームページの掲載や周知カードの配布を行っているが、相談者の年齢層や相談内容に偏りがある。より幅広い年齢層からの相談を受付けられるよう周知方法を検討したい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	休日の生活困窮相談（ゴールデンウィーク2～3日間と年末年始2日間も実施）		
担当部課	福祉こども部	生活支援課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、生活困窮者の増加に伴い、平日に来ることができない方の相談窓口が必要となったため、日曜日の午後およびGWや年末年始に生活困窮相談窓口を開設した。

実施結果

【総相談件数】
令和3年度 74件
令和4年度 75件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
人員の確保 生活保護の相談・申請受理等かなり限られた職員で対応しているため、病気等緊急時の対応に苦慮すると思われる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	高齢者への検査助成事業		
担当部課	福祉こども部	介護保険課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	22ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、濃厚接触者等ではなく、無症状であるが自らの感染状況に不安を持ち、活動を控えている高齢者が安心して活動を再開できるよう、本人希望による検査（自由診療）の費用を助成した。
（市内医療機関でのPCR検査費用30,000円のうち20,000円を助成し、また、抗原定量検査費用9,000円のうち7,500円を助成した。）

実施結果

令和2年度 123件（PCR検査 120件、抗原定量検査 3件）
令和3年度 229件（PCR検査 228件、抗原定量検査 1件）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
利用者数が少なかった。 本事業では、利用者は自己負担（PCR検査：10,000円、抗原定量検査：1,500円）が発生する一方で、民間の安価な検査が普及してきたことや、感染回避のため、病院へ行くことを控える傾向があったことが要因として考えられる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	第1 PCRセンターの設置（医師会）		
担当部課	健康部	健康総務課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	12ページ

事業概要

第1 PCRセンターの設置を、救急医療センターを運営する横須賀市医師会に業務委託して行った。業務として救急医療センター屋外の駐車場に設置したプレハブを診療所として、新型コロナウイルス感染症のPCR検査を行った（事前予約制）。予約は保健所の運営する「帰国者・接触者相談センター」経由で行い、同センターが市民から受けたコロナ受診相談の中で必要に応じて担当者が仲介を行い、予約を手配した。

実施結果

【検査件数】 2,037件 ※以下、内訳
 令和2年度 688件
 令和3年度 900件
 令和4年度 449件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	救急医療センターにおける振り分け外来での抗原検査		
担当部課	健康部	健康総務課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2023年5月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	22ページ

事業概要

振り分け外来での抗原検査を、救急医療センターを運営する横須賀市医師会に業務委託して行った。
その業務は救急医療センターを利用して新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査を行う内容で、診療所として救急医療センター屋外に設置したプレハブを利用した。
発熱患者のうち、コロナ陽性による発熱患者と、インフルエンザや、一般的な風邪による発熱患者を分別し、コロナ陽性患者は救急医療センター建物外の診察室にて診療を行うことにより、院内での感染拡大を未然に防ぐことが目的だった。
令和5年5月7日まで業務委託を行った。

実施結果

【検査件数】 38,437件 ※以下、内訳
令和2年度 1,227件
令和3年度 11,469件
令和4年度 24,222件
令和5年度 1,519件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
屋外の駐車場スペースにプレハブを設置して運営しているため、混雑時は駐車スペースに入りきれない車両が列をなし道路まで待機列が連なったことがあった。近隣施設と調整して臨時駐車スペースの確保や交通誘導員の増員などを行った。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	妊婦PCR検査		
担当部課	健康部	地域健康課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年6月～2023年12月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	17ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊婦に対し、不安軽減のために分娩前にPCR検査の実施や費用を助成した。

実施結果

令和2年度 7件（検査2件 償還払い 5件）
 令和3年度 21件（検査1件 償還払い20件）
 令和4年度 16件（検査0件 償還払い16件）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	抗原検査キット無料配布（発熱外来、抗原検査キット購入者）		
担当部課	健康部	保健所企画課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2022年8月～2022年10月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	42,46ページ

事業概要

発熱外来のひっ迫を緩和するため、本市独自で発熱外来へ抗原検査キットの無償提供を実施し、重症化リスクの低い患者が、発熱外来の予約満杯のため受診できない際などに抗原検査キットを配布し、自主検査を促す取り組みを行った。

また、新型コロナウイルス感染症第8波に備え、市民に対する抗原検査キットの備蓄を推進させるため、薬局で医療用医薬品または一般用医薬品（OTC）の抗原検査キットを購入した市民に対し、購入1回分につき1回分の抗原検査キットの無料配布を行った。

実施結果

令和4年度
【発熱外来】（2022年8月-10月）
 配布数：33,000回分
 協力医療機関数：48か所

【抗原検査キット購入者】（2022年12月-2023年3月）
 配布数：43,000回分（追加分10,000回分含む）
 協力薬局数：94か所

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
県が実施した抗原検査キットの無償配布と実施時期が被り、多少の混乱が生じた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	同時抗原検査キットを市内発熱外来にて無料配布		
担当部課	健康部	保健所企画課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2023年1月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	46ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念される中、家族間感染が多くなってきていることから、感染者の家族の自主検査を促進する目的で、一般用新型コロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原定性同時検査キット(同時検査キット)を医師会を通じて市内発熱外来に無償提供した。

実施結果

令和4年度
配布数：10,000回分
協力医療機関数：69か所

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
市民への周知不足が見受けられた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	第2PCRセンターの設置・運営補助（横須賀共済病院）		
担当部課	健康部	保健所企画課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年11月～2022年6月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21ページ

事業概要
<p>新型コロナウイルス感染症の検査体制拡充のため、横須賀共済病院に横須賀第2PCRセンターを設置し、運営費を補助した。</p>

実施結果
<p>令和2年度～令和4年度 安定的に新型コロナウイルス感染症の検査を受けられる体制が整備された。</p>

事業の振り返り（課題など）					
事業目的	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #FFDAB9;">目的が達成できたか</td> <td style="background-color: #FFDAB9;">選択してください</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table>	目的が達成できたか	選択してください	特になし	
目的が達成できたか	選択してください				
特になし					

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応	
全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	抗原検査キット無償提供（医師会、クラスター予防事業所）		
担当部課	健康部	保健所保健予防課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21, 36ページ

事業概要

行政検査の医療機関を増やすことを目的として、新型コロナウイルス抗原検査キット2,590回分を医師会に無償提供した。また、予防目的のためクラスターを生じやすい事業所等へ、新型コロナウイルス抗原検査キット10,000回分を無償提供した。

実施結果

令和2年度（令和2年12月～令和3年3月）
2,590回分を提供。
令和3年度（令和4年1月26日と27日）
介護保険サービス事業所541件、障害福祉サービス319件の合計860件に9,550回分を提供。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染患者の犬・猫ペットの緊急預かり事業		
担当部課	健康部	保健所生活衛生課	
対策項目	保健	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2023年5月	市行動計画掲載ページ	104ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21ページ

事業概要

感染患者が犬を飼育しており、かつその犬の預かり手がいなく、緊急対応として本市動物愛護センター（以下センターとする）で当該犬を預かる事例が令和2年6月に発生した。この件を受け、今後同様の事例が発生した時の対応策として、センター処置室を改修し、エアコン、シンク、隔離用のカーテン等を設置するなど、やむを得ず預かった感染患者の飼育犬猫と、通常業務の中でセンターで保護・収容した犬猫を隔離できる体制を整えた。

実施結果

令和2年度～
上記事例発生後、感染患者から飼育している犬猫の預かりの依頼を受けるケースはあったが、預かってくれる動物病院の紹介、新たな預かり手が見つかる等により、新たに預かった事例はない。
※感染患者が増えるにつれて、自宅療養を勧めるようになったため、感染患者からのペット預かり依頼はなくなっていった。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
犬猫収容スペースやマンパワー不足により、少数の犬猫しか預かることができず、またケージに入れるが犬猫が同じスペースにいることになるため、犬猫のストレスが大きくなることが考えられる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染拡大防止を目的とした職員による広報誌配布と業者ポスティングの実施		
担当部課	経営企画部	広報課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2020年6月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	14ページ

事業概要

広報よこすかの配布にあたり、町内会・自治会役員同士の接触機会を減らす目的で、一部の町内会・自治会で配布をとりやめ、市職員が配布を行った。
併せて、市職員では配布できない町内会・自治会については業者によるポスティングを行った。

実施結果

令和2年度
5月29日～6月10日のうち月曜日～金曜日に実施
町内会・自治会による配布：約103,000件（全364団体のうち234団体）
市職員による配布：40,319件（職員532名）
5月29日～6月10日に実施
事業者のポスティングによる配布：21,812件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<p>マンションや谷戸地域など町内会や自治会の形状によって、単純に戸数では必要な人員を把握できない。そのため、配布が必要な地域に対し、その範囲に対応する人員を確保できず、ポスティングなどの方法が必要となった。 業者によるポスティングのため、町内会・自治会に支払っている配布手数料よりも金額が高額になってしまった。 また、市職員が配布できる地域を確定し、それを踏まえて業者が配布する地域を確定していくため、業者に対する指示が煩雑であることや、重複と漏れがないように調整することに想定以上の労力がかかった。</p>		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	臨時雇用対策事業		
担当部課	総務部	人事課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2022年6月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	14ページ

事業概要

苦学生や仕事を失った人のための緊急雇用対策として、「会計年度任用職員」や「施設管理等サポートスタッフ（有償ボランティア）」の採用を行った。

実施結果

令和2年度
 会計年度任用職員21名採用
 （任用期間令和3年3月31日まで）
 施設管理等サポートスタッフ【有償ボランティア】14名採用
 （実施期間2年6月10日～8月31日）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
実際に採用した人の状況としては、生計維持者であって完全に失業している人はほとんどおらず、主たる生計維持者ではない人で、アルバイトや派遣で収入を得ていた人が、シフトを減らされたり解雇されたりして応募してきたケースが多かった。今回募集した職種は時給のパートタイム会計年度任用職員であり、また令和3年3月末までの時限がある募集であることから、安定した雇用を求める失業者からは敬遠されてしまったことが、応募の少なかった要因ではないかと考えている。今後もし事業を再開することがあれば、こうした点を考慮して募集職種や方法のあり方を再検討したい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	次亜塩素酸水の市民配布		
担当部課	財務部	財務管理課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年7月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	11ページ

事業概要

アルコール消毒液の品不足に対応するため、市民を対象に除菌効果が期待できる次亜塩素酸水の無料配布を行った。

(1) 市役所 共用倉庫前

【配布期間】令和2年4月10日～7月17日

(2) 行政センター（追浜・久里浜・西）

【配布期間】令和2年5月7日～7月17日

(3) 行政センター（田浦・逸見・衣笠・大津・浦賀・北下浦）

【配布期間】令和2年5月18日～7月17日

実施結果

令和2年度

(1) 市役所 共用倉庫前 配布量 延べ 29,835 L（人数換算：59,670人）

(2) 行政センター9カ所 配布量 延べ 50,370 L（人数換算：100,740人）

※1人あたりの配布量は次亜塩素酸水500ml換算

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
配布開始当初は共用倉庫前のみを配布会場としたことから、初日は最大130人程度の待ち列が発生し、市民が次亜塩素酸水の受け取りまでに長く時間を要した。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	クラウドファンディング型の店舗支援プレミアム応援チケットの実施		
担当部課	文化スポーツ観光部	商業振興課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年9月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により困窮している飲食業等を支援するため、横須賀商工会議所が行ったクラウドファンディング方式の電子チケット「よこすかプレミアム応援チケット」事業に対し、経費の補助を行った。

応援者がウェブサイトを通じて先払いで電子チケットを購入し、購入額に対してプレミアム分を30%付与した。購入金は先行して店舗へ送金されるため、一時的な経営資金が確保できる。チケットは購入後翌々月から3ヶ月間・1,000円単位で利用可能とした。店舗は、ワンドリンクサービスや1品無料などのクーポンの設定も可能とした。

実施結果

【第1弾】 令和2年度
販売期間5/1～8/24（上限に達し終了） プレミアム率30%
発行総額1億3,000万円 参加店舗350店

【第2弾】 令和2年度
販売期間2/5～2/26（上限に達し終了） プレミアム率30%
発行総額1億3,000万円 参加店舗411店

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
商工会議所が実施主体となり実施したが、緊急事態宣言によりチケットの有効期限の延期が続き、事業終了までの運営機関が長期化した。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	プレミアム商品券事業		
担当部課	文化スポーツ観光部	商業振興課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年7月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	18ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により困窮している店舗を支援するため、冊子形式のプレミアム付き商品券「よこすか『地元のお店』応援券」を販売した。

【第1弾】

プレミアム率：25% 発行総額：22億円（17万6,000冊） 販売価格：10,000円（1冊）
 利用可能額：12,500円 販売方法：事前応募制（抽選） 利用期間：購入後から令和3年12月31日

【第2弾】

プレミアム率：25% 発行総額：25億円（20万冊） 販売価格：10,000円（1冊）
 利用可能額：12,500円 販売方法：事前応募制（抽選） 利用期間：購入後から令和4年2月28日

【第3弾】

プレミアム率：25% 発行総額：25億円（20万冊） 販売価格：10,000円（1冊）
 利用可能額：12,500円 販売方法：事前応募制（抽選） 利用期間：購入後から令和5年1月31日

実施結果

【第1弾】 令和2年度
 販売結果 163,030冊（92.6%） 応援券総額 2,037,875,000円 プレミアム分 407,575,000円
 登録店舗数 1,934店舗（小型店：1,484店舗、大型店：450店舗）

【第2弾】 令和3年度
 販売結果 199,080冊（99.5%） 応援券総額 2,488,500,000円 プレミアム分 497,700,000円
 登録店舗数 2,085店舗（小型店：1,647店舗、大型店：438店舗）

【第3弾】 令和4年度
 販売結果 198,983冊（99.5%） 応援券総額 2,487,287,500円 プレミアム分 497,457,500円
 登録店舗数 2,166店舗（小型店：1,726店舗、大型店：440店舗）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急で実施を決め、早急に実施することとなったので、実施内容の決定、委託事業者の選定に時間をかけられなかった。 ・準備、周知期間が足りず、2次販売を行うこととなった。 ・参加店舗の確保が難しい。 		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	商業振興対策事業 商店街振興		
担当部課	文化スポーツ観光部	商業振興課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年4月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて来街者が減少し、売り上げの落ち込んだ商店街の振興のため、販売促進事業の実施経費や固定経費となる街路灯等の電気料金等経費に対する補助率の向上を行い、商店街の振興を図った。

販売促進事業補助 通常補助率 1/3 → 4/5
 電気代補助 通常補助率 1/2 → 全額補助

実施結果

令和2年度
 販売促進イベントの実施団体 23団体
 電気料金補助団体 59団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
商店街が従来行うような、集客イベントが制限されていたため、どのような事業であれば実施可能か、各商店街から相談を受けながら手探りで進めていた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	徴収猶予の特例制度		
担当部課	税務部	納税課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2021年2月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要

新型コロナウイルスの影響により事業等に係る収入に相当の減少があった方（個人・法人）の申請により、地方税の徴収を猶予した。
（本市独自ではなく、国の施策として行われたもの）

実施結果

令和2年度
申請件数：339件
許可件数：334件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
既存制度の延長線上のものであるため、大きな課題はなかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	申告書作成及び税額試算サービス		
担当部課	税務部	市民税課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年1月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

例年、市・県民税の申告に大勢の市民が申告会場に来場しているが、感染拡大を防止するため、本事業により、インターネット上で市民自らが、申告書作成及び市県民税額の試算ができた。そのため、申告書の書き方がわからない市民も、申告会場に来ることなく自宅で申告書が作成できた。

実施結果

令和3年度課税より実施

- ・令和3年度 134件
- ・令和4年度 186件
- ・令和5年度 234件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
電子申告に対応していない。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	個人市民税の申告期限延長及び法人市民税及び事業所税の申告・納付の期限延長		
担当部課	税務部	市民税課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年3月～2021年4月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、個人市民税の申告及び法人市民税及び事業所税の申告・納付をを期限内に行うことができないやむを得ない理由がある場合に、期限を延長する。

実施結果

申告期限延長期間の申告数

- ・令和2年度 1,724件（令和2年3月17日～4月16日）
- ・令和3年度 1,572件（令和3年3月16日～4月15日）
- * 令和4年度以降は期限延長なし

【法人市民税】

令和2年度 467件 令和3年度 160件 令和4年度 133件 令和5年度 27件

【事業所税】

令和2年度 25件 令和3年度 5件 令和4年度 1件 令和5年度 0件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
国税に倣った事業のため、国税の動向を注視する必要があった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	軽自動車税種別割申告の課税上の取り扱いについて		
担当部課	税務部	市民税課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

軽自動車の保有関係手続に関し、3月末に窓口での申請手続が集中することを回避するため、3月中にそれらの申告の根拠となる事由が発生したと確認でき、かつ、その事由発生から15日以内に手続がなされたものであった場合、4月以降の申告であっても、3月中にそれらの申告の根拠となる事由が発生したことを前提に課税処理を行った。

実施結果

令和2年度 7件
 令和3年度 19件
 令和4年度 14件
 令和5年度 14件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	中小事業者等の事業用家屋及び償却資産に対する固定資産税等の軽減措置		
担当部課	税務部	資産税課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年12月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症で事業収入が一定以上減少している中小事業者等が所有する事業用家屋及び償却資産に対する固定資産税及び都市計画税の課税標準を、令和3年度1年分に限りゼロまたは2分の1に軽減した。
 (本市独自ではなく、国の施策として行われたものです)

実施結果

令和2年度
 適用件数：家屋416件、償却資産418件（家屋、償却資産で申告者の重複あり）
 軽減税額：389,413千円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
制度が複雑で申告時の添付書類も多く、中小事業者にとっては申告しにくい制度であったと思います。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	食料支援		
担当部課	福祉こども部	地域福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13, 22, 23ページ

事業概要

令和2年5月から、新型コロナの影響により困窮している市民に食料支援を実施。

1 学生食料支援

令和2年5月から6月まで、アルバイトや仕送りが減収した下宿学生に対し、緊急食料支援を実施。

2 年末緊急食料支援

令和2年12月24日と25日に、一般市民を対象に年末食料支援を行った。

3 毎日の食料支援

令和3年1月から、コロナ禍長期化に配慮して毎日食料支援を行っている。

実施結果

令和2年度～

1 学生食料支援

支援学生数 218人 ほっとかんで配布

1人当たり7日分の主食と副食（延べ数 1,526日分、4,578食）

2 年末緊急食料支援

支援数 1,459人 ほっとかん、各行政センターで配布

1人当たり3日分の主食と副食（米1,699Kg、餅1,254Kg、カップ麺3,849個、缶詰6,307個、レトルト4,167個）

3 毎日の食料支援

令和2年度：473世帯 令和3年度：1,163世帯 令和4年度：808世帯

令和5年度（7月末まで）：227世帯 累計：2,671世帯

ほっとかん、各行政センターで配布

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
支援物資は、すべて寄贈によるものであり、主食や副食の必要量を安定的に確保することが課題である。（寄贈元：フードバンクかながわ、市内・外の個人や企業）		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	介護施設等サービス継続支援事業及び衛生用品購入費補助事業		
担当部課	福祉こども部	指導監査課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年7月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症が発生した事業所に対して、消毒・清掃費用、人材確保のための人件費など、サービス継続のために要した経費を補助した。併せて、介護サービスを安定的・継続的に提供することができるように衛生用品購入費の一部を補助した。

実施結果

【サービス継続支援事業】	【衛生用品購入費補助事業】
令和2年度 14事業者 15,054,000円	362事業所 35,179,000円
令和3年度 15事業者 26,000,000円	
令和4年度 53事業者 152,600,000円	

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により要する費用が増減するため、予算の見込みが困難		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	障害者雇用奨励金		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年3月～2023年5月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

障害者雇用奨励金の支給認定を受けた障害者を継続雇用し給与を支払ったときは、障害者雇用奨励金の支給要件を満たしていない場合でも、予算（1月あたりの支給月額）の範囲内で給与支払実費分を障害者雇用奨励金として支給した。

実施結果

令和元年度 3件
 令和2年度 176件
 令和3年度 136件
 令和4年度 63件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	就労系障害福祉サービスにおける在宅就労導入支援事業補助金		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から在宅就労を推進するために、就労系障害福祉サービス事業所におけるテレワークのシステム導入経費等を補助した。また、生産活動が停滞し減収となっている事業所に対し、利用者の賃金・工賃の確保を図るため、その再起に向けた取り組みに対して補助を行った。

実施結果

令和2年度
 在宅就労導入支援事業補助金 補助金交付件数 1件
 機能強化事業補助金 補助金交付件数 4件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
事業所での申請書類の作成が負担となっていると思われる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	衛生用品等の緊急調達事業補助金		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年9月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

市内の障害福祉サービス等を行う施設が購入したマスクやアルコール消毒液などの購入費用を補助した。

(1) 補助率 10/10

(2) 補助の上限

訪問系事業所（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護） 29万円

それ以外 12万円

実施結果

令和2年度
交付事業所数 延163件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	障害福祉サービス継続支援事業補助金		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の発生による障害福祉サービス等の提供体制の影響を小さくするため、障害福祉サービス事業所等が感染機会を減らしつつ、必要な障害福祉サービスを継続して提供できるよう、通常の障害福祉サービスでの提供時では想定できない衛生用品費用等の補助を行った。

実施結果

令和2年度 6事業所
令和3年度 14事業所
令和4年度 21事業所

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
五類への移行に伴い、現時点で今後の本事業の対応方法等の見通しが立っていないこと。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	移動支援事業及び訪問入浴サービス体制強化事業補助金		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

移動支援及び訪問入浴サービス事業者に対する新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常サービスでは提供できない職員増員の人件費や衛生用品購入費用等について予算の範囲内で補助を行った。

実施結果

令和2年度
【移動支援】 **【訪問介護】**
 3事業所 2事業所

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か 【理由や更に良くなる工夫】	選択してください

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業		
担当部課	福祉こども部	障害福祉課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年3月～2020年7月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染拡大による特別支援学校等の一斉臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用の増が見込まれることから、追加的に生じたサービス分に係る利用者負担額等について補助を行った。

実施結果

令和2年度 730件
令和3年度 0件
令和4年度 0件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給（本市独自上乗せの実施）		
担当部課	福祉こども部	生活支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年7月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	28ページ

事業概要

困窮する市民の生活を支援するため、新型コロナウイルス感染症生活困窮者に本市独自の上乗せ分として、単身世帯については1か月あたり14,000円、2人世帯については40,000円、3人以上世帯については44,000円を上乗せ分として加算した。

実施結果

令和3年度 延べ1,945件 56,098,000円
令和4年度 延べ2,504件 79,614,000円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	たすけあい資金に係る社協負担金（コロナ支援金入金までのつなぎ資金貸付）		
担当部課	福祉こども部	生活支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年7月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

総合支援資金や緊急小口資金、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給までの間、単身世帯は3万円、2人世帯は6万円、3人以上世帯は9万円を上限に貸付を行うことで、生活を支援した。

実施結果

令和3年度 貸付件数 22件 計 720,000円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
市民への周知が少なかったと考えられる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	病児・病後児保育事業における購入経費補助及び施設予約等のICT化		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年1月～不明	市行動計画掲載ページ	112ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

病児・病後児保育事業における新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる衛生用品消耗品、備品等の購入経費を補助した。
また、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら事業を実施していくために、施設空き状況の見える化や予約・キャンセル等のICT化を行うために必要なシステムの導入費用の一部を補助した。

実施結果

【購入経費補助】
令和元年度～令和3年度 対象施設数 1施設 補助実績 0件（0千円）
令和4年度 対象施設数 2施設 補助実績 1件（300千円）
※繰越明許費として支出
【ICT化】
対象施設数 1施設 補助実績 1件（148千円）
※繰越明許費として支出

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
施設にとって補助申請手続きが煩雑と考えられる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	公立保育園・こども園内の感染拡大防止及び雇用対策		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	21ページ

事業概要

コロナ禍における雇用対策として、公立保育園・こども園内の感染拡大防止対策のためのパートタイム用務員を雇用した。園児が触れるおもちゃ、手すりや窓等の家具や設備、及び食前食後のテーブルの消毒を行った。

実施結果

令和2年度～
園の性質上、密になりやすく感染が拡大しやすい環境において、園児、職員、及び保育環境の感染対策を徹底することができ、結果部分的な臨時休園等はあったものの継続して保育を提供することができた。また、雇用対策として年間約18名前後を継続して雇用したことで一定の役割を果たしたと考える。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
勤務時間や業務内容が家事従事者等にとって好条件だったため希望者が大変多く、全員は雇用できなかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	地域子育て支援拠点事業		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

コロナ禍地域子育て支援センターを閉所はせず、時間や人数制限をしながら市民の利用を可能にするうえで、非接触型体温計を使い、常に利用者（親子等）、職員の体調管理に十分配慮して運営を行った。

実施結果

令和2年度～
利用制限はあったものの、体温を必ずその場で測定することによって、利用者や職員の体調管理を徹底するで、新型コロナ感染拡大防止に努めることができた。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
新型コロナ感染症は、年間を通して身近に発生しており、5類になったからといって感染拡大防止の対策は必要なため、新しい生活様式としてこれらの消耗品予算がきちんと継続されること。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	ファミリー・サポート・センター事業		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

来所する利用者や会員、職員への新型コロナ感染拡大防止対策として、手指消毒液やスタンドスプレー、空気清浄加湿器等を購入し、徹底した対策を行った。

実施結果

令和2年度～

小学校や幼稚園、保育園などの休校・園に伴い、完全に利用者がなくなることはなく、センターには利用希望の問い合わせも多かった。そのため職員も従事し、相談業務や利用調整を図った。その際の感染対策があったことで、事業の継続ができた。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<p>新型コロナ感染症は、年間を通して身近に発生しており、5類になったからといって感染拡大防止の対策は必要なため、新しい生活様式としてこれらの消耗品予算がきちんと継続されること。</p>		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	横須賀市認可外保育施設利用料支援事業		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年8月～2020年11月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

認可外保育施設の利用者の経済的負担の軽減を図るため、当該施設における新型コロナウイルス感染症の影響による登園自粛や臨時休業により利用していない日数等の利用料を返還した。

○対象者

施設に通う0～2歳児で、幼児教育・保育の無償化対象外の者

○対象期間

令和2年4月7日（緊急事態宣言発出）～6月30日

○補助上限額

対象者1人につき、1月当たり、施設が返還した額又は上限42,000円のいずれか低い額

実施結果

令和2年度 5施設（56人） 3,017,920円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	保育体制強化事業(令和2年度は保育支援員雇上事業)		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2024年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染拡大に伴い追加で発生した業務に対応するために必要な経費の一部を補助した。

- 対象施設 保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設
- 補助上限額 1施設当たり 月額100,000円

実施結果

令和3年度 29施設 27,335,000円
令和4年度 46施設 43,315,000円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	保育支援員雇上事業		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年10月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染拡大に伴い追加で発生した業務に対応する保育支援員を配置するために必要な経費の一部を補助した。

- 対象施設 保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設
- 補助対象期間 令和2年10月～令和3年3月
- 補助上限額 1施設当たり 月額100,000円

実施結果

令和2年度 30施設 12,458,979円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	特別保育支援金		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年10月～不明	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により登園自粛等があったことから、延長保育・一時預かり（一般型、幼稚園型Ⅰ、Ⅱ）において、利用児童数の大幅な減少とこれに伴う補助金額の減少が見受けられたが、本市の多様な教育・保育ニーズに対応するための重要な事業であるため、該当年度と令和元年度の利用児童数及び補助金額を比較し、いずれも減少している場合に、減少理由が新型コロナウイルスの影響であったこととみなし、令和元年度並みの補助金額（特例基準額）となるよう支援金を支給した。

実施結果

令和3年度	23施設	18,066,250円
令和4年度	16施設	16,583,160円
令和5年度	15施設	11,747,260円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症拡大防止対策事業（子育て関連施設）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年1月～不明	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

施設が新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために購入する消耗品、備品等経費を補助した。

○対象施設：

私立保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設、一時預かり事業

○補助上限額：

1 保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設（居宅訪問型保育事業以外）

1施設当たり 定員19人以下 300,000円

定員20人以上59人以下 400,000円

定員60人以上 500,000円

2 認可外保育施設（居宅訪問型保育事業） 1施設当たり 300,000円

3 一時預かり事業 1事業所当たり 300,000円

実施結果

令和元年度 68施設 24,214,000円
 令和2年度 延141施設 46,928,000円
 （国の1次補正・2次補正の2回実施のため延施設数）
 令和3年度 72施設 24,300,000円
 令和4年度 78施設 25,297,000円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症対策支援事業（放課後児童クラブ）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響や、その対策にかかった経費（飲食物は不可）を補助した。

○補助上限額

【令和2年度】1支援の単位あたり（50万円）

【令和3年度以降】定員19人以下（30万円）、定員20人以上59人以下（40万円）、
定員60人以上（50万円）

○補助対象可能な例

施設内で使用する感染症対策物品

感染症対策に関する業務（追加的な清掃・消毒・検温等）の実施に伴う超過勤務手当やアルバイト等を雇用した場合の賃金、外注の費用等

感染症対策会議等開催に係る経費

密を避けるために追加的に職員を配置した場合や追加で施設を借りた場合の経費等

自費でのPCR検査費用

感染防止対策の一環として、職員個人が必要とする物品

実施結果

放課後児童クラブの負担軽減

【放課後児童クラブ助成事業】

令和2年度 47団体 令和3年度 64団体 令和4年度 58団体

【公設放課後児童クラブ運営事業】

令和2年度 1団体 令和3年度 1団体 令和4年度 1団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
真に必要な物品、数量、経費なのが見極めが難しい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症対策利用料減免（放課後児童クラブ）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るために、放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の日割り利用料について、放課後児童クラブが保護者へ返還した場合等の経費を補助した。

- ・1日1人500円を上限
- ・閉所等日数×日割り利用料（上限500円）×人数
- ・対象となる閉所等により、日割り利用料を保護者へ返還した放課後児童クラブ（民間）が対象

実施結果

放課後児童クラブを利用できなかった児童の保護者の負担軽減

【放課後児童クラブ助成事業】

令和2年度 70団体 令和3年度 50団体 令和4年度 54団体

【公設放課後児童クラブ運営事業】

令和2年度 1団体 令和3年度 1団体 令和4年度 1団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
対象者の判断・減免日数の裏付け・補助金額の確認等、細かく規定しているため、補助金額の確認作業に時間を要した。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症対策臨時休業時特別開所支援事業（放課後児童クラブ）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年6月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、令和2年4月6日から6月19日の期間、平日において午前中から開所するための経費を補助した。

実施結果

放課後児童クラブの負担軽減
【放課後児童クラブ助成事業】
 令和2年度 70団体
【公設放課後児童クラブ運営事業】
 令和2年度 1団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
午前中から開所するため放課後児童支援員等放課後児童クラブの補助金申請関係の事務負担は増加した。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か 【理由や更に良くなる工夫】	選択してください

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染拡大防止を図る事業（放課後児童クラブ）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルスの感染症拡大を図るために必要な物品の購入費の補助を行った。（令和元年から2年度2か年で1支援の単位あたり50万円まで）

実施結果

放課後児童クラブの負担軽減
【放課後児童クラブ助成事業】
 令和2年度 56団体

【公設放課後児童クラブ運営事業】
 令和2年度 1団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
真に必要な物品、数量、経費なのか見極めが難しい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か 【理由や更に良くなる工夫】	選択してください

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症に係る事業継続支援事業（放課後児童クラブ）		
担当部課	福祉こども部	子育て支援課（放課後児童対策担当課）	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2023年4月～2024年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

放課後児童クラブの職員や利用者について、新型コロナウイルスの感染者等が発生した場合に、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な、緊急時の職員確保に係る費用、職場環境の復旧・環境整備等に係る費用の補助を行った。

- ・定員19人以下（30万円）
- ・定員20人以上59人以下（40万円）
- ・定員60人以上（50万円）

実施結果

放課後児童クラブの負担軽減
【放課後児童クラブ助成事業】
令和5年度 76団体

【公設放課後児童クラブ運営事業】
令和5年度 2団体

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
真に必要な経費なのか見極めが難しい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	特別定額給付金給付事業		
担当部課	地域支援部	市民生活課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年8月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急経済対策として、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、一人につき一律10万円の特別定額給付金を給付した。

実施結果

令和2年度 支給人数：399,670人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特別定額給付金申請受付当時は、マイナンバーカードと住基及び個人の銀行口座の紐づけがされていなかったため、マイナンバーカードにより申請された方には別途個別の対応が必要となった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業		
担当部課	地域支援部	市民生活課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年9月～2022年6月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	35ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子供たちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、児童を養育している者に対し、子供（0歳から高校3年生まで）1人当たり10万円相当の給付を行った。
 ※児童を養育している者の年収が960万円以上の世帯を除く。

実施結果

令和3年度 支給決定者数：49,650人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
「児童を養育している者の年収が960万円以上の世帯を除く。」の不公平さ。 →共稼ぎで年収900万円+900万円の場合は本給付の対象となる。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業		
担当部課	地域支援部	市民生活課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年11月～2022年9月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	36ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得世帯の生活・暮らしを支援するため、住民税非課税世帯等に対し、1世帯につき10万円の給付を行った。

実施結果

令和3年度 支給決定者数：44,464人
令和4年度 支給決定者数：4,404人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<p>本給付の基準日と住民税の賦課期日が異なるため、転入転出者等への対応が煩雑になってしまう。住民税非課税であることが条件の一つであるため、給付した後、修正申告等により非課税→課税となり対象外となってしまう恐れがある。</p>		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナ感染症の影響による減収を事由とする国民年金保険料免除申請		
担当部課	地域支援部	窓口サービス課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2023年6月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により国民年金保険料の納付が困難となった場合、臨時特例免除申請の受付手続きを行った。対象は令和2年2月分以降、令和5年6月分までの期間の保険料とした。

実施結果

令和元年度 53件
 令和2年度 312件
 令和3年度 209件
 令和4年度 164件

合計 738件（令和5年8月現在）

審査は日本年金機構が行うため、申請後の可否について詳細は不明だが、一定程度は免除承認されたものと思われる。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
実施主体は日本年金機構であり、市独自で上記のような施策を実施することは出来ない。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	横須賀市国民健康保険特定健康診査		
担当部課	健康部	健康管理支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年5月～2021年9月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療機関は全ての患者及び利用者の診療等については、特に手厚い感染症対策が求められた。令和3年2月26日付の厚生労働省事務連絡において、特に必要な感染症対策を講じた上で診療等を実施した医療機関等の診療報酬について、9月診療分までの外来診療における初診料、再診料等に加算ができることが示された。特定健康診査業務委託料等は診療報酬を積算の根拠としているため、令和3年5月から9月の期間で実施した特定健康診査の委託料を増額させた。

実施結果

令和3年度
事業を実施した令和3年度は、143医療機関が特定健診実施機関として本市と契約を締結し、委託料を増額させた令和3年5月から9月の期間で6,080件の特定健診が実施された。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
<p>国が示した診療報酬の加算について、加算期間が年度途中で終了していたため、特定健診の委託料も年度途中で金額が変わることとなった。このため、医療機関が委託料を誤って請求してしまう懸念が生じたため、市側で過不足なく医療機関へ委託料が支払えるよう、別途費用をかけて正確な支払いを担保する必要があった。</p>		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	市民健診事業・がん対策推進事業における健康診査委託料の増額		
担当部課	健康部	健康管理支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年5月～2021年9月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療機関は全ての患者及び利用者の診療等については、特に手厚い感染症対策が求められた。令和3年2月26日付の厚生労働省事務連絡において、特に必要な感染症対策を講じた上で診療等を実施した医療機関等の診療報酬について、9月診療分までの外来診療における初診料、再診料等に加算ができることが示された。健康診査委託料等は診療報酬を積算の根拠としているため、令和3年5月から9月の期間で実施した健康診査の委託料を増額させた。

実施結果

令和3年度
事業を実施した令和3年度は、約140医療機関が特定健診実施機関として本市と契約を締結し、委託料を増額させた令和3年5月～9月の期間で6,024件の健康診査と19,164件が実施された。

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
国が示した診療報酬の加算について、加算期間が年度途中で終了していたため、健康診査の委託料も年度途中で金額が変わることとなった。このため、医療機関が委託料を誤って請求してしまう懸念が生じたため、市側で過不足なく医療機関へ委託料が支払えるよう、別途費用をかけて正確な支払いを担保する必要があった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	妊婦へのマスク配布		
担当部課	健康部	地域健康課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2020年10月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要

国の新型コロナウイルス感染症対策の補助事業として、令和2年5月～10月まで母子健康手帳の交付時や郵送で、妊婦さんへ布マスクを2枚ずつ配布した。

実施結果

令和2年度
妊婦6,190人に対し、12,380枚配布（郵送10,450枚 窓口1,930枚）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
緊急に国からの指示のより実施した事業のため、短期間での準備が大変であった。また、国から送付されてきた布マスクに不良品が多数あり、検品作業や返品等により事業の遅れが生じた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	傷病手当金の支給		
担当部課	健康部	健康保険課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2025年5月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

被用者のうち、新型コロナ感染症に感染した者、または感染が疑われる被保険者が労務に服することができず、給与が無給もしくは減額された場合に、申請を受け傷病手当金を支給した。

実施結果

令和2年度 支給決定件数 25件
 令和3年度 支給決定件数 71件
 令和4年度 支給決定件数192件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
基本的には国が定めた制度設計に従って行う事務であるが、申請手続きが複雑なことや、フリーランスで委託契約を結んで働いている者等が制度の網から漏れてしまうことに課題を感じた。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナウイルス感染症に関する保険料減免に関する窓口対応		
担当部課	健康部	健康保険課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年7月～2023年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	14ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症に関する保険料減免について、申請に係る相談、照会及び受付の事務、申請書の送付、決定等通知の引渡を行い、経済的に影響を受けた世帯の保険料の減免を行った。なお、減免の決定又は却下は神奈川県後期高齢者医療広域連合にて行った。

実施結果

【窓口対応件数】	【保険料減免件数】
令和2年度：63件	令和2年度：1,172件
令和3年度：23件	令和3年度：326件
令和4年度：8件	令和4年度：46件
1件10～30分程度	1件30分程度

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
特になし。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業		
担当部課	こども家庭支援センター	こども家庭支援課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年3月～2024年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

児童養護施設等において、マスク等衛生用品購入費、個室化に要する改修費、職員のかかりまし経費、オンライン授業用パソコン等の経費を補助することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図った。

実施結果

児童養護施設等への補助金
 令和2年度 15件
 令和3年度 11件
 令和4年度 16件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
コロナは感染状況が読めないため、事業費を見込むことが困難である。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		
担当部課	こども家庭支援センター	こども給付課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2021年4月～2022年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	26ページ

事業概要

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子どもの食費等の負担が大きい低所得の子育て世帯に対し、児童1人につき8万円を給付した。（国による児童1人当たり5万円の給付に加え、市単独事業として、児童1人あたりに3万円を上乗せして給付）
また、令和4年度はコロナ禍の原油価格・物価高騰等総合緊急対策において、真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、低所得の子育て世帯に対し、児童1人につき10万円を給付した。（国による児童1人当たり5万円の給付に加え、市単独事業として、児童1人あたりに5万円を上乗せして給付）

実施結果

令和3年度 支給児童数 9,236人
令和4年度 支給児童数 8,561人

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
通常業務以外の追加業務であり、かつ実施期限が短い内容のものだった。情報処理等に詳しい職員が在籍していたことにより、対象者の抽出等を迅速に行い対応が可能となったが、今後同様の追加業務が生じた場合、課の状況によってはこども給付課単独での対応は難しいと考える。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	中小企業制度融資信用保証料補助金における全額補助		
担当部課	経済部	経済企画課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年3月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	7ページ

事業概要

売り上げの減少した市内中小企業等の資金繰りを支援するため、横須賀市制度融資の一部メニュー（経済変動対策資金）における信用保証料の全額補助を実施。（通常は補助率1/2 上限20万円）

実施結果

令和2年度
202件 121,422,000円
（内訳）
経済変動対策資金（全額補助） 119件（114,406,000円）
その他 83件（7,016,000円）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	中小企業等家賃支援補助金及び臨時給付金		
担当部課	経済部	経済企画課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年5月～2020年7月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	13ページ

事業概要	
<p>【補助金】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上が減少した中小企業等の家賃の一部を補助した。</p> <p>①対象等 原則として、令和2年3月、4月、5月の売上げがそれぞれ前年同月比で20%以上減少した中小企業等</p> <p>②補助金額 令和2年3月、4月、5月の家賃相当額の2分の1 （上限額60万円（20万円／月×3月））</p> <p>【臨時給付金】</p> <p>①対象等 原則として、令和2年10月、11月、12月の売上げが、それぞれ前年同月比で20%以上減少した中小企業等（中小企業等家賃支援補助金の対象者）</p> <p>②給付金額 一律8万円</p>	

実施結果			
令和2年度			
【補助金】		【臨時給付金】	
支出件数	3,101件	全体	2,253件
支出額	777,688,000円	支出額	180,240,000円

事業の振り返り（課題など）			
事業目的		目的が達成できたか	選択してください
<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の郵送申請で実施したが、入力に多大な時間を要するため、電子申請を検討する必要あり。 ・納税確認時、滞納が認められる事業者が相当の割合にいるため、緊急時には納税確認を実施しない補助施策も検討する必要あり。（補助金をもらうために滞納を解消する事業者がほとんどであるが、その調整に時間がかかる。） 			

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応	
全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	公共交通感染拡大防止支援事業		
担当部課	都市部	都市計画課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年8月～2021年3月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

市民にとって安全な公共交通を確保するため、新型コロナウイルスの影響により利用者が大幅に減少しているタクシー事業者に対し、感染拡大防止対策の経費を補助した。

実施結果

令和2年度
1台あたり補助金（上限） 10,000円
補助台数 469台

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
1台あたりの補助金額が低かったため、個人タクシー事業者の一部が、補助金を活用しなかった。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	公共交通燃料価格高騰対策補助金		
担当部課	都市部	都市計画課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2022年7月～2022年11月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けている路線バスやタクシーについて、燃料価格高騰分の一部を助成することにより、急激な燃料価格の上昇による負担を軽減し、地域住民の移動手段となる公共交通を確保した。

実施結果

令和4年度【2022年7月-11月】
1台あたり補助金：路線バス100,000円、タクシー30,000円
補助台数：路線バス231台、タクシー628台

令和5年度【2023年6月-10月】
1台あたり補助金：路線バス50,000円、タクシー15,000円
補助台数（予定）：路線バス231台、タクシー645台

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
休車中のタクシー車両があり、申請台数の把握が難しい。 タクシー事業者が導入したEV車両に対して、化石燃料の価格高騰による影響範囲が把握できないため、補助対象から外している。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	高齢者住宅リフォーム補助金		
担当部課	都市部	まちなみ景観課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2023年4月～2025年	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けている市内経済の活性化を図るとともに、高齢者が住み慣れた家で長く暮らせるようにするため、高齢者（65歳以上）の居住する住宅を住宅所有者自身がリフォームを行う際に、リフォーム工事費用に対して、一律10万円を補助した。

- ・ 補助対象者 自己所有住宅に居住する65歳以上の市民
65歳以上の市民と同居する住宅所有者
- ・ 対象工事 市内に本拠（本店）を置く事業者が施工する住宅内の修繕工事等全般
- ・ 補助金額と件数 一律10万円×200件（20万円以上の工事に限る）

実施結果

令和4年度
補助件数 198件
補助金額 19,800,000円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
追加の業務であり、会計年度職員（パートタイム）の配置もしたが、問い合わせをはじめ、想定以上に業務量が増加したため、通常業務に影響が出た。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	一般旅客定期航路・生活航路支援事業		
担当部課	港湾部	港湾企画課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2022年6月～2023年5月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

新型コロナウイルスや燃油価格高騰等の影響を受けている、市民生活圏の一般旅客定期航路及び市民の生活航路を維持するための補助を行った。

【令和4年度】

東京湾フェリー(株) 1,000千円 × 使用船舶数 2隻 = 2,000千円

(株)トライアングル 200千円 × 使用船舶数 4隻 = 800千円 ※1年間分を想定

【令和5年度】

東京湾フェリー(株) 1,000千円 × 使用船舶数 2隻 = 2,000千円

(株)トライアングル 100千円 × 使用船舶数 4隻 = 400千円 ※半年間分を想定

【令和6年度】

新型コロナウイルス感染症の影響で、料金を納期に支払うことが難しくなった事業者や個人に対して港湾施設使用料（給水・給電を除く）の支払い猶予を実施した。

支払い猶予を希望する事業等に対して、港湾施設使用料の納付書に記載されている納期限を6か月延長した。周知については、ホームページを利用。（利用頻度の高い港運協会へは、直接周知）

実施結果

燃油価格高騰分等の経費に対して一部支援を行うことで、定期運航の維持に寄与した。

令和4年度 支援事業者 2件

令和5年度 支援事業者 2件

令和6年度 支援事業者 0件

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
燃油価格高騰分をすべて支援しようとするとう大な経費がかかる。どこまで補助対象事業者を拡げるかが難しい。		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	新型コロナウイルス感染症に係る水道料金等の支払猶予について		
担当部課	上下水道局経営部	経営料金課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～2023年7月	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	11ページ

事業概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一時的に水道料金・下水道使用料（以下「水道料金等」という。）のお支払いが困難な事情があるお客様に対し、お支払いの猶予を行った。水道料金等の減額やお支払いの免除は行わなかった。

1 対象者（個人・法人）

- ① 新型コロナウイルス感染者または感染の疑い等により、水道料金等のお支払い手続きが困難な方
- ② 新型コロナウイルス感染症流行の影響により、収入が減少し水道料金等のお支払いが困難な方

2 猶予の期間

最長で4か月の猶予

実施結果

新型コロナウイルス感染症に係る水道料金等の支払猶予（納入誓約水栓数及び金額）

令和2年度	262件	水道料金	7,862,882円、	下水道使用料	7,784,584円
令和3年度	24件	水道料金	231,692円、	下水道使用料	215,867円
令和4年度	16件	水道料金	276,330円、	下水道使用料	248,839円

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください

【理由や更に良くなる工夫】

新型コロナ対応における横須賀市の実施事業

事業名	感染症対応強化事業（市立各学校）		
担当部課	教育委員会	総務課	
対策項目	市民生活及び市民経済の安定の確保	時期区分	対応期
実施期間	2020年4月～不明	市行動計画掲載ページ	113ページ
		コロナ対応史掲載ページ	掲載なし

事業概要

市立の各学校にコロナウイルス感染症対策用の予算を配当し、学校の実情に合わせ、校長の判断により感染症対策等を徹底しながら、子どもの学習保障をするために必要な物品等の迅速かつ柔軟な継続的調達を可能とした。

実施結果

令和2年度～
 実施校 小学校 46校、中学校 23校
 高等学校（全日制・定時制） 1校
 ろう学校 1校、養護学校 1校
 幼稚園 2園（R4年度から1園）

事業の振り返り（課題など）

事業目的	目的が達成できたか	選択してください
なし		

結果や振り返りを踏まえた次なる感染症への対応

全体を通じた本取組の評価	選択してください
本取組が次に起こり得る感染症危機事案で活用可能か	選択してください
【理由や更に良くなる工夫】	